

東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録〈辞書之部〉あゝう

藤本 灯・平井 吾門・竹入 優

はじめに

本目録は、東京大学国語研究室蔵黒川文庫〈辞書之部〉の目録である。

当研究室では、戦後、一誠堂書店より購入した黒川家旧蔵書「黒川文庫」を、昭和三四年に文学部に登録し、9・26・27棚の函架番号を付した。これらは黒川文庫の「地理」「伝記」に始まる「書籍目録」三一部門のうち、一八番目の「辞書」と一九番目の「語学」に当たり、合計八四六部一七三五冊（注1）とされる。

当研究室所蔵黒川文庫の内容については、既刊の『東京大学文学部国語研究室所蔵古寫本・古刊本目録』（東京大学文学部国語研究室編／1986）、『黒川文庫目録』（日本書誌学大系86／2000～2001）、「東大国語研究室蔵黒川文庫目録 その一（あゝう）」（『国語研究室』5／1966）等によ

りその概要を知ることが可能であるが、いずれも書誌情報
が簡潔であるため、従来の利用者にとっては不便な状況で
あった。

そこで本稿では、国語研究室蔵黒川文庫の現状を整理し、
将来の利用者に情報を提供する目的で、黒川文庫の書誌を
掲載した次第である。

なお、本目録には多少の不備もあるうが、後日の補訂を
期したい。

【凡例（あゝう）】

本稿では、書名の頭音が「あ」「い」「う」に該当する書
を掲載したが、例外として「韻鏡反切」「名乗即鑑」「増補
伊呂波韻」「増益伊呂波雑韻」「新增色葉節用集抄」「増補
判秘決集」を各々「い」の部に収めた。また、「改正韻鏡」
「合類韻鏡」「古音韻鏡」「古本韻鏡」「指微韻鏡」「新增韻
鏡」「頭書韻鏡」「磨光韻鏡」に準ずるものはそれぞれ「か

いせい」「うるい」等の頭音を以て排列し、「韻鏡九弄安知鈔」「韻鏡九弄目前鏡」は外題「九弄安知鈔」「九弄目前鏡」に従い、「き」篇に送った。

【凡例】

- ・書名(原則として冠称を含めない)を五十音順に排列し、書誌を示した。書名が同じ場合、刊写年の古い順に、刊写年不明の場合は写本↓版本の順に、それ以降はし番号(文学部登録番号)の若い順に排列した。
- ・見出しは原則として外題に依り、旧字を新字に改めた。
- ・書名の読みは『国書総目録』『日本古典籍総合目録』等に依ったものが多いが、いずれにも記載の無い場合には、便宜的に示すこととした。原則として現代仮名遣いに改めたが、「てにをは」「をごと」に準ずる場合はその限りでない。
- ・編著者名は原則として本文の表記に従い、旧字を新字に改めた。不明の場合は省略した。
- ・刊記等が存しない場合、刊写年代を推定して示した。
- ・表紙に「辞書」(朱印)の押されているものは全て原表紙と記した。表紙の色合いは、参考までに現在の状態を示した。
- ・寸法は縦×横の順に示した。
- ・二冊以上から成る本は①②③等の記号を以て各冊の丁数等を示した。丁数は遊紙の枚数を含めたが、見返しの際が

れは含めない。

・本文の一頁(半丁)行数を示したが、不統一の場合や本文が図表のみの場合は省略した。

・本文の用字を漢字⇨漢、片仮名⇨片、平仮名⇨平、梵字⇨梵、訓点(振仮名を含まない、また序跋に付されたものを含まない)⇨訓、ローマ字⇨羅の略称により示した。

・序跋の有無、年代、序跋者は本文に記載されている限り示した。表示の無い項目は、不明であることを表す。但し、序文や跋文自体が無い場合は、それぞれ序なし、跋なし、序跋なし等とした。序跋者の表記について、旧字を新字に改めた。

・印記の略称は以下の通りである。「黒川真頼蔵書」(朱方、44×14[㊦])⇨頼、「黒川真頼」(朱印、直径13[㊦])⇨(頼)、「黒川真道蔵書」(朱方、44×14[㊦])⇨道、「黒川真前蔵書」(朱方、48×14[㊦])⇨前、「東京帝/國大學/圖書印」(朱方、59×59[㊦])⇨帝図、「東京大學圖書印」(朱方、36×10[㊦])⇨東図、「東京大學」(朱印、直径15[㊦])⇨(東大)、「國語」(朱方、04×11[㊦])⇨国語。また、これ以外の印の有無は印記欄末尾に示した。刷印は記さない。

・外題・内題・奥書・刊記等の表記は原文通りを心がけたが、新字との差異が僅少である旧字を新字に改めた場合がある。改行を/で、角書や小書きの文字を()で、原本に在る振仮名を()で、破損等で判読困難な箇所を□で

示した。また、刊記等における干支が小文字の場合は字配りに依らず全て「」で示した。割書や印記における改行はいちいち示さない。

・外題には第一冊の表記を掲げ、冠称から巻数までを『』内に示した。表紙に記載された書名以外の情報について、外題に連なる場合は外題と併せて、独立する場合は「表紙」等の項目を別に立てて全てを記すようにした。

・内題は原則として見返し題・巻首題を示し、これらが欠けたり、これらと表記が異なる場合のみ、目録題・柱題・尾題等を示した。巻数は省略した。また、見返しに記載された書名以外の情報も付記した。

・刊記は原則として全文を掲げたが、詳細な住所を省略した場合がある。また、印刷の便宜上、原本の字配りを変更した場合がある。

・原則として（ ）は、書誌作成者注を表す。

阿又羅帖 あしやらじょう

刊五卷五帖 江戸後期 26-1 L66811～66815

○江戸後期刊、折本、栗色金砂子散し地原表紙、楮紙、(第一～四帖) 29.4 × 15.2 寸、(五帖) 41.3 × 15.2 寸、一部墨界、①二七折②三七折③三三折④四一折⑤三九折、漢・片・梵、絵図あり(一部着色)、序跋なし、杉箱入り(45.0 × 17.5

寸)

〈印記〉頼、道、前、帝図、「東大」、国語、他二種、

*箱蓋裏に印(道)、箱蓋裏貼紙に印(頼)、箱

底貼紙に印(頼)

〈外題〉(箱・墨書)『阿又羅帖(五帖)』・表紙『阿又羅帖』

吾妻路往来 あずまじおうらい 渚梅園船盛

刊一卷一冊 江戸後期 27-313 L67196

○江戸後期刊、袋綴、薄縹色無地原表紙、楮紙、22.6 × 16.0 寸、界線なし、九丁、一頁五行、漢・平、口絵・墨印、鷺湖画、嘉永七年(1834)「雪江楼のあるし関弘道」序、跋なし、他七冊と合帙

〈印記〉頼、道、東図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨)嘉永七年渚梅園船盛作

〈外題〉『吾妻路往来 完』

〈内題〉・見返し：渚梅園船盛述／『吾妻路往来』／考古堂

蔵板

・巻首：『吾妻路往来』

吾妻余波 あずまなみり 岡本昆石

刊一卷二冊 明治 26-2 L66833～66834

○明治一八年(1885)刊、袋綴、杏色布目地(押型)原表紙、楮紙、22.1 × 14.8 寸、界線なし、上三三丁・下二九丁、

漢・平・羅、口絵・挿図着色、明治一八年(1885)痴囊諧
史序・同年自序、跋なし

〔印記〕道、前、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〔外題〕Ancient and modern Various Usage of Tokio. IVO.

『〔古今百風〕吾妻餘波 上』

〔内題〕・扉・序…『〔古今百風〕吾妻餘波(あづまなまり)』

〔刊記〕明治十八年一月廿日 版權免許

同 十八年十月 出版

編輯人 東京府士族 岡本經朝

出版人 同 森戸錫太郎

発賣人 同 萬字屋錫太郎

白水郎之轉 あまのさえずり 坂昌周

写一卷一冊 江戸後期 26-3 L63312

○江戸後期写、袋綴、薄灰青色沓繫(押型)原表紙、楮紙、27.6
× 17.5 寸、界線なし、六五丁、一頁一〇行、漢・片・平・
書入(朱墨)、延享四年(1747) 従五位下守大学頭林信光序
・同五年(1748) 法眼昌迪序・同四年(1747) 自序、跋な
し

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『坂昌周撰〕白水郎之轉』

〔内題〕・卷首…『白水郎之轉』

異字篇 いじへん 寂本

刊二卷一冊 江戸中期 27:348-1 L63044

○元禄三年(1690)刊、袋綴、芥子色沓繫(押型)原表紙、
楮紙、15.9 × 10.9 寸、墨界、九四丁、一頁六行、漢・片、
訓点付刻、書入(墨)、南山豹隱序・貞享五年(1688)紀之
望嶺雲石堂曳尾子序、跋なし、最終丁一部欠損、他三冊と
合帙

〔印記〕頼、道、前、東図、国語

〔外題〕『異字篇 完』

〔内題〕・卷首…『異字篇』

・柱…『異字』

〔刊記〕元禄三庚午孟春吉旦 中野宗左衛門

異体字弁 いたいじへん 中根元珪

刊一卷一冊 江戸中期 27:343 L67054

○江戸中期刊、袋綴、柿渋色無地原表紙、楮紙、18.2 × 11.2
寸、墨界、九二丁、漢、序跋なし、卷首題の下に「〔墨〕寛
〔花押〕」、卷首題の次に「洛澁中根〔璋〕元珪輯／雒東岡
元曾寂懷書」、他七冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、東図、〔東大〕、国語、他一種

〔外題〕『異體字辨 完』

〔内題〕・見返し…帝畿 書林 榎邨／『好異門』／玉池堂

鈔梓

・卷首…『異體字辨』

〔刊記〕 洛陽五條橋砌 梅村彌與門鏡梓

一行禪師字母表 いちぎようぜんじしほひょう

刊一卷一冊 江戸中期 27-292 L67135

○江戸中期刊、袋綴、紺色布目地(押型)松皮菱紋(艶出)原表紙、楮紙、268×180^枚、七丁、漢・片・梵、書入(朱書梵字声点)、序跋なし、三書合冊(校正干祿字書・梵字悉曇字母并釈義)、他一冊と合帙

〔印記〕 頼、〔頼〕、帝図、〔東大〕、国語、〔愛岳麓藏書〕(複廓朱方)

〔外題〕 『一行禪師字母表』

〔内題〕 ・卷首…『一行禪師字母表』

・柱…『字母表』

〔巻尾識語〕 寫本云 以小野僧正自筆而令書寫畢

沙門澄禪書

田舎往来 いなかおうらい 岩崎矩満

刊一卷一冊 江戸後期 27-308 L67249

○江戸後期刊、袋綴、深緑色牡丹菊唐草紋(押型)原表紙、楮紙、257×182^枚、七一丁、界線なし、漢・片、訓点付刻、序なし、宝曆八年(1786)自跋、他九冊と合帙

〔印記〕 道、東図、〔東大〕、国語、文部省図書記(複廓朱

印)

〔表紙〕 (右・直・朱) 寶曆八年板/岩崎矩満著

〔外題〕 『田舎往来 全』

〔内題〕 ・見返し…『田舎往来』

・柱…『田舎』

〔刊記〕 書林 日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛梓

今川壁書解 いまがわへきしよかい 伊勢貞丈

写一卷一冊 江戸後期 27-311 L67235

○江戸後期写、袋綴、熨斗目花色無地原表紙、楮紙、273×182^枚、三二丁、一頁一〇行、漢・片・平・訓、書入(朱)自序、安永五年(1776)自跋、他四書と合帙

〔印記〕 道、帝図、〔東大〕、国語、〔矢部氏図書〕(朱方)

〔表紙〕 (右・直・朱) 伊勢貞丈著

〔外題〕 『今川壁書解 全』

〔内題〕 ・序…『今川壁書解』

・卷首…『今川壁書』

今川壁書解 いまがわへきしよかい 伊勢貞丈

写一卷一冊 江戸後期 27-311 L67248

○江戸後期写、袋綴、山吹茶色布目地(押型)原表紙、楮紙、262×183^枚、界線なし、二二丁、一頁一二行、漢・片・平・訓、書入(朱)自序、安永五年(1776)自跋、他

四書と合帙

〔印記〕道、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕(右・直・墨) 伊勢貞丈著

〔外題〕『今川壁書解』

〔内題〕・序：『今川壁書解』

・巻首：『今川壁書』

増補伊呂波韻 ぞうほいろはいん

刊一卷一冊 江戸後期 27-353 L67296

○天明四年(1784)刊、袋綴、芥子色卍繫(押型)原表紙、楮紙、11.0×7.6[㍉]、界線なし、一三三丁、漢・片、訓点

付刻、書入(墨)、序跋なし、他三冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、東図、国語

〔外題〕『増補伊呂波韻 全』

〔内題〕・凡例：『改正増補伊呂波韻』

・巻首：『増補以呂波韻』

・柱：『廣益以呂波韻』

〔刊記〕享保十九〔甲寅〕歳三月吉辰

京二條通車屋街角 村上勘兵衛壽梓

天明四歳〔甲辰〕秋七月改正

増益伊呂波雜韻 ぞうえきいろはざつりん

刊三卷一冊 江戸中期 27-341 L66804

○元禄七年(1694)刊、袋綴、江戸茶色無地原表紙、楮紙、22.6×16.6[㍉]、界線なし、一三三丁、漢・片、訓点付刻、書入

(朱)、序跋なし、見返しに書入(墨)一念成就風拂四重煩惱迷雲(以下略)、刊記の前に書入(墨)妙光山主木岩叟玄楚、表紙小破、他一冊と合帙

〔印記〕道、帝図、〔東大〕、国語、「やま／＼ち」(朱印)、

他一種

〔表紙〕(右・直・墨) 元禄板

〔外題〕『増益以呂波雜韻 全』

〔内題〕・巻首：上『増益伊呂波雜韻』・中『増益以呂波韻』

・下『増益以呂波韻』

・尾：上『大廣増益伊呂波韻』・中『増益以呂波韻』

・下『大廣増益伊呂波略韻』

・柱：『大廣増益伊呂波韻』

〔刊記〕元禄〔七〕年〔甲戌〕卯月吉辰

大坂安堂寺町心齊橋筋 大野木市兵衛 改板

〔平かな片カナ〕いろは字原考 いろはじげんこう 森立之

刊一卷一冊 明治 27-330 L66662

○明治七年(1874)刊、袋綴、山吹茶色無地原表紙、楮紙、22.1×15.1[㍉]、界線なし、一三三丁、漢・片・平、明治七年(1874)

自序、跋なし、他七冊と合帙

〔印記〕道、帝図、〔東大〕、国語、「黒川光長」(朱方)、

他一種（朱方）

〔外題〕『森立之著／平かな／片カナ』いろは字原考 全
〔内題〕・見返し：明治甲戌新鐫『平かな／片カナ』いろ

は字原考』森立之著
・序…『兩假字攷』

〔刊記〕東京 森立之藏板

〔日本国字〕以呂波字考錄 いろはじこうろく 全長

刊二卷二冊 江戸中期 26-4-1 L66949・66951

○元文元年（1736）刊、袋綴、錆浅葱色無地原表紙、楮紙、27.2
× 18.4^{センチ}、界線なし、上四七丁・下三四丁、一頁一二行、

漢・片・平・梵、訓点付刻、元文元年（1736）紀南後学坂
井橋周道序・同年自序、同年自跋、巻首題の次に「寓南紀
名高浦 僧全長編輯」、三冊合帙（次項を見よ）

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〔外題〕『日本国字』以呂波字考錄 上』

〔内題〕・序・巻首・尾…『以呂波字考錄』

・柱…『伊呂波字考錄』

〔刊記〕元文丙辰發行丁巳春本出

浪花書林 心齋橋筋順慶町 澁川清右衛門版

〔日本国字〕以呂波字考錄 いろはじこうろく 全長

刊二卷二冊（下巻欠） 江戸中期 26-4-2 L66950

○元文元年（1736）刊、袋綴、錆浅葱色無地原表紙、楮紙、27.2

× 18.4^{センチ}、界線なし、四七丁、一頁一二行、漢・片・平・
訓点付刻、元文元年（1736）紀南後学坂井橋周道序・同年
自序、巻首題の次に「寓南紀名高浦 僧全長編輯」、三冊合
帙（本書は前項上巻（L66949）と同版なり）、題箋及び見
返し破損

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『以呂波字考錄』

〔内題〕・序・巻首・尾…『以呂波字考錄』

・柱…『伊呂波字考錄』

色葉字類抄 いろはじるいしょう 橘忠兼

写一〇巻一〇冊（二帙） 江戸後期 26-5

L63136 ~ 63140・62915 ~ 62919

○江戸後期写、袋綴、緋色無地原表紙、楮紙、26.9 × 18.9
^{センチ}、界線なし、①八八丁②七九丁③一一〇丁④九五丁⑤八
八丁⑥一一〇丁⑦七九丁⑧九五丁⑨九四丁⑩八五丁、一頁
八行、漢・片、書入（朱）、序あり、天文元年（1532）「通
議大夫小槻」本奥書・天保四年（1833）伴信友識語写、第
一冊末尾に「朱）明治十一年五月以一本校合了 黒川真前」

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、東図（帙）、〔東大〕、国語

〔表紙〕（右・直・墨）春村校本／真頼校本

〔外題〕『色葉字類抄 第一』

〔内題〕・序…『色葉字類抄』

・巻首…『伊呂波字類抄』

〔奥書写し〕(二種)

I (第一〇冊巻尾貼紙)

以師御本寫之漢倭之文字

不審不一連々可見直在之

于時天文元(壬辰)稔八月日

通議大夫小槻(花押写)

〔付箋左上〕欠本/字ヨリ須ニ至リテ二巻也

II (第一〇冊巻尾)

一本奥云/中院黃門〔通躬卿〕家藏御本伊呂波字類抄〔全

部十巻〕聞其名尚矣/竊恨生前一不播幸菅常昭依有葭葎親

懇語旨趣常昭/亦多余懇志而曲啓黃門忝荷恩免焉傳聞此書

者洞院家/之述作也于時元祿十三庚辰年洛東隱逸似閑/

伊呂波字類抄全十局(下)今行諸本誤寫脫漏之多殆不可讀者/

居多嗚乎轉寫已屢致此艱涉而已予前得三本而比視之就中今

/并似閑所寫之中院家本頗佳而未能無誤即手自參互考訂其

不/詳者一從舊本隻字不意改義涉于兩可者或不辨是正者朱

書/字傍假一好士手新寫一通書未整頓別得二本因而再校之

加朱/書比之今行書頗為好本獨自欲愛収之書架以俟他日得

善/本如有要傳寫者莫委函莽書午而失墜余老婆心/天保四

〔癸巳〕年六月四日 伴信友

新增色葉節用集抄 いろはせつようしゅうしよ

写一巻一冊 江戸後期 27-305-2 L63276

○江戸後期写、袋綴、湊鼠色布目地(押型)牡丹菊唐草紋

〔艶出〕原表紙、楮紙、26.4×20.2 ㍥、界線なし、七丁、

一頁九行、漢・片・訓、「萬年ノ破衲(ノ)フ」騰英妙茂」序、

跋なし、巻尾に「所持/沼波少左衛門(花押)」、他一冊と

合帙

〔印記〕頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『新增色葉節用集抄』

〔内題〕・序…『新增色葉節用集抄』

韻会捷見 いんかいしゅうけん

刊一巻一冊 江戸後期 27-298-3 L67403

○文化元年(1804)刊、袋綴、老竹色雷文繫桐唐草紋(押

型)原表紙、楮紙、22.4×15.6 ㍥、一六四丁、一頁六行、

漢・片、書入(朱)、序跋なし、広告あり、他二冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〔外題〕『□□□印』韻會□□□』

〔内題〕・柱…『捷見』

〔刊記〕寛文十一(辛亥)歳八月發行

文化元(甲子)九月補刻

書肆 江戸淺艸新寺町 和泉屋庄治郎

大阪心斎橋唐物町 河内屋太助梓

韻学楷梯 いんがくかいてい 三浦茂樹

刊二卷二冊 江戸後期 26-7 L67166 ~ 67167

○天保五年(1834)刊、袋綴、藍墨茶色雲鶴紋(押型)原表紙、楮紙、22.8 × 16.1^{センチ}、墨界、上六三丁・下五四丁、一頁九行、漢・片(跋||漢・平)、図あり、天保三年(1832)相陽道齋三浦茂樹序、同年長門守大中臣藤井宿禰高尚跋(序とあり)、巻首題の次に「無相文雄翁原考 西涯近藤子業撰」道齋三浦茂樹 次

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『韻学楷梯 上』

〈内題〉・見返し…無相上人原考／道齋先生編輯

『韻学楷梯』／無心房梓

・序(上巻)…『韵学楷梯』

・目録…『韻学楷梯(インガクカイトイ)』

・巻首…『韻学楷梯』

〈刊記〉復明館蔵版／天保五〔午年〕七月開板

大阪書林

高麗橋一丁目 藤屋弥兵衛

心斎橋筋 河内屋長兵衛

同 塩屋長兵衛

同 柏原屋清右エ門

同 秋田屋源兵衛

九之肋橋一丁目 秋田屋良介

韻学拵拾 いんがくくんしゅう 雲洞叟寂玄

刊三卷一冊 江戸初期 27-298-2 L67053

○寛文一〇年(1670)刊、袋綴、黄檗色布目地(押型)卍繫原表紙、楮紙、19.2 × 13.6^{センチ}、界線なし、一三四丁、一頁二行、漢・片、訓点付刻、書入(墨)、寛文一〇年(1670)自序、跋なし、落書あり、他二冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『韻学拵拾〔上中下〕全』

〈内題〉・巻首…『韻学拵拾』

〈刊記〉寛文拾年 戌七月吉日 戸嶋惣兵衛 開板

韻学筌蹄 いんがくせんてい 近藤西涯

刊一卷一冊 江戸後期 27-336 L67363

○寛政六年(1794)刊、袋綴、紺鼠色縁取割小菱紋(押型)

原表紙、楮紙、27.1 × 18.5^{センチ}、界線なし、六九丁、一頁一〇行、漢・片、訓点付刻、宝曆七年(1757)丁丑沙門文雄

序・寛政六年(1794)自序、寛政六年(1794)杜多感徹跋、

巻首題の次に「備藩近藤篤子業父撰」、他一〇冊と合帙、虫

損

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〈外題〉『韻学筌蹄 全』

〈内題〉・見返し：巳未校正／西涯先生編輯／文雄和尚監定

／『韻學筌蹄』／(略) 靈湖堂梓

・巻首…『韻學筌蹄』

〈刊記〉

宮田六左衛門彫刻

川上勝好拜書

于時寛政六〔甲寅〕歳晩春

江戸小石川白山前町 雁屋久兵衛版

韻鑑古義標註

いんかんこぎひようちゅう 河野界浦

刊二巻二冊 江戸中期 26-11 L67411-67412

○享保一一年 (1726) 刊、袋綴、小豆色卍繫鳳凰牡丹紋原表紙、楮紙、27.5×19.2^サ、界線なし、甲三〇丁・乙四五

丁、漢・片、訓点付刻、図あり、書入(朱墨)、享保一一年

(1726) 自序、享禄元年(1528) 正三位行侍從臣清原朝臣

宣賢跋、見返しに書入(甲Ⅱ朱墨・乙Ⅱ墨)、付箋あり、五

種切紙あり、「韻鑑古義標註補遺」一冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前(甲本のみ)、東図、〔東大〕、

国語、他一種

〈外題〉『韻鑑古義標註 甲』

〈内題〉・序…『韻鑑古義標註』

・柱…(甲)『韻鑑標註』・(乙)『舊本韻鑑』

・巻首『韻鑑古義標註』

〈刊記〉享保十一〔丙午〕曆十一月冬至日

洛陽書林 秋田屋平左衛門

文臺屋次郎兵衛 合梓

韻鑑古義標註補遺

いんかんこぎひようちゅうほい 河野界浦

刊一卷一冊 江戸中期 26-11 L67413

○元文三年 (1738) 刊、袋綴、小豆色卍繫鳳凰牡丹紋原表紙、楮紙、27.4×19.1^サ、界線なし、二〇丁、一頁九行、

漢・片、訓点付刻、書入(朱墨)、序なし、享保一一年(1736)

自跋、見返しに書入(墨)、巻首題の下に「界浦子撰」、

広告あり、「韻鑑古義標註」二巻二冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、東図、〔東大〕、国語、他一種

〈外題〉『韻鑑古義標註補遺 全』

〈内題〉・巻首…『韻鑑古義標註補遺』

・柱…『標註補遺』

・尾…『古義標註補遺』

〈刊記〉元文三載戊午三月吉日

皇都書肆 文臺屋次郎兵衛

秋田屋平左衛門 同梓

韻鏡 いんきょう 張麟之

刊一卷一冊 江戸初期 27-285 L67244

利兵衛開板

○寛永十八年(1641)刊、袋綴、緋色無地原表紙、楮紙、268
×181^サ、界線なし、四六丁、漢・片(序冒頭に訓点書入、
春村自筆跋)漢・平)、図あり、書入(朱墨)、紹興三一年
(1161) 張麟之序・嘉泰三年(1203) 張麟之序作、享祿元
年(1528) 正三位行侍從臣清原朝臣宣賢跋・春村自筆跋、
本書一二丁目(「五音五位之次第」) 袋内に三種切紙あり、
二丁分欠丁を書写して補う、二書合冊(通志七音略(写本))

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉(右・直・墨) 春村書入本
〈外題〉『韻鏡〔寛永板〕』
〈刊記〉 寛永十八歳八月吉辰 二條通鶴屋町 田原仁左衛
門梓行

韻鏡 いんきょう 張麟之
刊一卷一冊 江戸初期 26-8 L67351

○寛永二一年(1644)刊、袋綴、御納戸色無地原表紙、楮
紙、180×130^サ、界線なし、五五丁、漢・片・訓、図あ
り、書入(朱墨)、紹興三一年(1161) 張麟之序・嘉泰三年
(1203) 張麟之序作、他一冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈外題〉『韻鏡〔寛永板〕』
〈内題〉・扉・小口下…『韻鏡』
〈刊記〉 崑寛永廿一甲申三月日

韻鏡 いんきょう 張麟之
刊一卷一冊 江戸初期 26-8 L67012

○正保二年(1645)刊、袋綴、舛花色無地原表紙、楮紙、184
×135^サ、界線なし、五五丁、漢・片・訓、図あり、書入
(墨)、紹興三一年(1161) 張麟之序・嘉泰三年(1203) 張
麟之序作、他一冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈外題〉『韻鏡正保版』
〈内題〉・扉…『韻鏡』
〈刊記〉 崑正保乙酉仲夏吉日

韻鏡 いんきょう 張麟之
刊一卷一冊 江戸初期 27-286 L66911

○明暦二一年(1656)刊、袋綴、珊瑚珠色横刷毛目地原表紙、
楮紙、266×180^サ、界線なし、五三丁、漢・片(序に訓
点書入(朱墨))、図あり、書入(朱墨)、紹興三一年(1161)
張麟之序・嘉泰三年(1203) 張麟之序作、享祿元年(1528)
正三位行侍從臣清原朝臣宣賢跋、他五冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種
〈外題〉清芸維馨『韻鏡〔明暦版〕』薄齋叢書
〈刊記〉 明暦二〔丙申〕初秋吉祥日

韻鏡 いんきょう 張麟之

刊一卷一冊 江戸初期 27-286 L66908

○貞享二年(1685)刊、袋綴、布目地(押型)渋引原表紙、楮紙、25.8×17.9^サ、界線なし、五二丁、漢・片、図あり、書入(朱)、紹興三十二年(1161)張麟之序・嘉泰三年(1203)張麟之序作、享祿元年(1528)正三位行侍從臣清原朝臣宣賢跋、「五音直拗五位之圖」を切紙に書写し挿入す、他五冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、「東大」、国語、他一種

〈外題〉『韻鏡〔貞享板〕』

〈刊記〉貞享二年〔乙丑〕孟春吉旦 書肆

韻鏡 いんきょう 張麟之

刊一卷二冊 江戸初期 27-285 L67245

○江戸初期刊、袋綴、藍鼠色卍繫牡丹唐草紋(押型)原表紙、楮紙、26.2×19.2^サ、界線なし、五二丁、漢・片、図あり、書入(朱)、紹興三十二年(1161)張麟之序・嘉泰三年(1203)張麟之序作、享祿元年(1528)正三位行侍從臣清原朝臣宣賢跋

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、「東大」、国語

〈外題〉清芸維馨『韻鏡〔享祿板〕(朱) 弥本』薄齋叢書

〈卷末識語〉智性院空賢求之／沙門唯剛

韻鏡假字用格 いんきょうかなようかく 三輪義方

写一卷一冊 江戸後期 27-287 L66818

○江戸後期写、袋綴、灰青色無地原表紙、楮紙、28.5×20.2^サ、野線(刷)、六八丁、漢・片、全文韻図、序跋なし、柱に「稻齋」、外轉第十三開(一八丁表)まで記載、他四冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨)三輪義方稿本

〈外題〉『韻鏡假字用格』

韻鏡帰納諱手鑑 いんきょうきどういみなしゅかん 梶田龜齋

写一卷一冊 江戸後期 27-287 L67360

○江戸後期写、袋綴、黄支子色無地原表紙、楮紙、23.9×16.9^サ、界線なし、六六丁、一頁一〇行、漢・片(序)漢・片・平、書入(朱)、天保十一年(1840)自序、跋なし、他四冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨)梶田龜齋稿本

〈外題〉『韻鏡帰納諱手鑑 完』

〈内題〉・序：『韻鏡帰納諱手鑑』(インキヤウキドウイミ

ナシユカン)

韻鏡攷 いんきょうこう 岡本保孝

写一巻一冊 江戸後期 27-289 L66915

○江戸後期写、袋綴、芥子色無地原表紙、楮紙、23.5×16.6
ㄱ、界線なし、八・五丁、漢・片、序跋なし、巻首題の次に「況齋岡本保孝著」、欄外に押紙あり、見返し内側に「墨」春暖之砌」云々の書差あり、六書合冊（十六通撰政・全齋読例・駁全齋読例・三経字音正訛考・五十音弁誤）

〔印記〕頼、〔頼〕、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕（右・直・墨）春村校本

*「校本」を朱にて「書入」に訂す

〔外題〕『韻鏡攷（朱）保孝／春村写』

〔内題〕・巻首…『韻鏡攷』

韻鏡考 いんきょうこう 佐藤仁之助

写一巻一冊 明治 27-288 L66780

○明治期写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、24.8×17.1
ㄱ、縦横墨界（刷）、六一丁、一頁一〇行、漢・片、図あり、朱墨校合、序跋なし、見返しに書入（朱墨）、柱に「黒川書齋」、訂正の貼紙あり、他八冊と合帙

〔印記〕頼、道、帝図、東図、〔東大〕、国語

〔表紙〕（右・直・墨）佐藤仁之助著

〔外題〕『韻鏡考』

〔内題〕・巻首…『四十三轉分別論』（以下『内外轉論』等、

省略）

韻鏡字彙 いんきょうじゑい

刊二巻一冊 江戸中期 27-287 L67361

○江戸中期刊、袋綴、墨色無地原表紙、楮紙、26.5×19.ㄱ、界線なし、三二丁、一頁一〇行、漢・片、訓点付刻、序跋なし、七丁袋内に切紙あり（六書八體等の記事を記す）、他四冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『韻鏡字彙』

〔内題〕・巻首…『韻鏡字彙 上』

韻鏡袖中秘伝鈔

いんきょうしゅうちゅうひでんしやう 毛利貞斎

刊一巻一冊 江戸中期 26-12 L66955-66965

○正徳五年（1715）刊、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、22.4×15.8ㄱ、界線なし、①四四丁②三二丁③三五丁④二九丁⑤四〇丁⑥三九丁⑦四〇丁⑧三五丁⑨三二丁⑩五二丁⑪五一丁、漢・片、訓点付刻、図あり、序跋なし

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〔外題〕『諸説辨断』韻鏡袖中鈔「卷之一」

〔内題〕・見返し…重改訂正／洛下 毛利貞斎編集／『韻鏡

秘傳鈔』／武陽 鏡寛校正

・卷首…(第三、八冊)『韻鏡袖中秘伝鈔』・(第九冊)『韻鏡名乗字大全』・(第一〇冊)『韻鏡字子集』・(第一・二・一冊は卷首題なし)

〔刊記〕正徳第五〔乙未〕仲夏穀旦

維下文堂 錢屋庄兵衛

河南四郎右衛門

韻鏡捷徑 いんきようしょうけい 南嶽豹

写一卷一冊 江戸中期 27-34 166679

○宝暦五年(1755)写、袋綴、芥子色無地原表紙、楮紙、163×23.6^サ、墨界(押界の上に書く)、一三丁、漢・片、書入(朱墨)、宝暦五年(1755)自序、同年墨川由楨跋、虫損

〔印記〕頼、道、帝図、「東大」、国語、他六種

〔表紙〕(右・直・墨)南嶽豹著 原本

〔外題〕『韻鏡捷徑』 完

〔内題〕・序・跋…『韻鏡捷徑』

・卷首…『十二反切捷徑』

韻鏡諸抄大成 いんきようしょうしよしょうたいせい 馬場信武

刊七卷五冊 江戸中期 26-9 167060 ~ 67064

○宝永二年(1705)刊、袋綴、鶯色格子地原表紙、楮紙、26.6×17.8^サ、界線なし、①七五丁②四五丁③五四丁④五五丁⑤六八丁、一頁二二行、漢・片、訓点付刻、図あり、書入

(朱墨)、宝永二年(1705)自序、跋なし、第一冊卷首下書入「墨」下館田中山寺／沙門行弘(他随所に「行弘」印及び署名あり)

〔印記〕頼、道、帝図、「東大」、国語、他四種

〔表紙〕①(右上・直・朱)「共五冊」・(右下・直・墨)

「諒□堂文未主」②(左下・直・墨)「舜星」

〔外題〕『朱』韻鏡諸抄大成 一 *二〜五冊は外題なし(巻数のみ)

〔内題〕・卷首・柱・尾…『韻鏡諸抄大成』

〔刊記〕寶永二年五月下旬

京師書舗 漕淵権兵衛

山岡勘右衛門

小倉八郎兵衛 合刻

〔改正引文〕韻鏡序例并二六啓明

いんきようじよれいならびにろくけいめい

刊一卷一冊 江戸中期 27-287 167395

○宝暦八年(1758)刊、袋綴、紺色無地原表紙、楮紙、27・2×18・3^サ、界線なし、三四丁、漢・片、訓点付刻、三書合冊(韻鏡序例・韻鏡二六啓明・韻鏡初学伝授)、他四冊と同帙

(韻鏡序例)一頁七行、図あり、紹興三十二年(1161)張麟

之序・嘉泰三年(1203)張麟之序作、跋なし、

七丁袋内に切紙あり(六書八體等の記事を記す)

す)

(韻鏡二六啓明) 一頁九行、序跋なし

(韻鏡初学伝授) 一頁九行、序跋なし

(印記) 頼、道、帝図、「東大」、国語、他二種

(外題) 『改正引文 韻鏡序例』并「二六啓明 全』

(内題) (韻鏡序例)・柱：『韻鏡序例』

・尾：『韻鑑序例』

(韻鏡二六啓明)・卷首・柱：『韻鏡二六啓明』

・尾：『二六啓明』

(韻鏡初学伝授)・目錄：『初學傳授』

・柱：『韻鏡初學傳授』

(奥書) (韻鏡二六啓明)

寶曆三癸酉九月十三日

摂陽城北 原陰齋義宜謹識

(刊記) (韻鏡初学伝授)

寶曆八(寅) 歳十月吉旦

浪速書林 南本町壹丁目 村井喜太郎

高麗橋壹丁目 浅野彌兵衛 合梓

(後表紙見返識語) 慈雲舎主

韻鏡第三十八章内轉者非誤論

いんきょうだいさんじゅうはつしょうのないてんはあやまりにあらざるらん

佐藤仁之助

写一卷一冊 明治 27-288 166681

○明治二十七年(1894)写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、24.8

×17.2センチ、縦横墨界(刷)、「二〇丁、一頁一〇行、漢・片、

真類書入(朱)、序跋なし、卷首題の次に「佐藤仁之助攷」、

柱に「黒川書齋」、他人冊と合帙

(印記) 頼、道、帝図、「東大」、国語

(表紙) (右・直・墨) 佐藤仁之助著

(外題) 『韻鏡第三十八章内轉者非誤論』

(内題)・扉：『韻鏡第三十八章内轉者非誤論』

・卷首：『韻鏡第三十八章ノ内轉ハ誤ニアラサル論』

(奥書) 明治二十七年東京市祝捷大會日稿了

一読了 真類

韻鏡第三十八章外轉ト定ムヘキ論

いんきょうだいさんじゅうはつしょうのないてんとさだむべきらん

佐藤仁之助

写一卷一冊 明治 27-288 166682

○明治二十七年(1894)写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、25.0

×17.4センチ、縦横墨界(刷)、「一一丁、一頁一〇行、漢・片、

墨書校合、序跋なし、卷首題の次に「佐藤仁之助攷」、柱に

「黒川書齋」、訂正の貼紙あり、他八冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨) 佐藤仁之助著

〈外題〉『韻鏡第三十八章ハ外轉ト定ムヘキ論』

〈内題〉・扉…『韻鏡第三十八章ハ外轉ト定ムヘキ論』

・巻首…『韻鏡第三十八章ハ外轉トスヘキ論』

〈奥書〉明治二十七年十二月五日稿了

韻鏡第三十八章ハ外轉ナルヘキ論

いんきょうだいさんじゅうはつしょうはがいてんなるべきろん

佐藤仁之助

写一巻一冊 明治 27-288 L67056

○明治期写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、25.0 × 17.2

寸、縦横墨界(刷)、二六丁、一頁一〇行、漢・片、図あり、

序跋なし、墨書校合、柱に「黒川書齋」、訂正の貼紙あり、

他八冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨) 佐藤仁之助著

〈外題〉『韻鏡第三十八章ハ外轉ナルヘキ論』

〈内題〉・扉…『韻鏡第三十八章ハ外轉ナルヘキ論』

韻鏡藤氏伝 いんきょうとうしでん 富森一斎

刊二巻二冊 江戸中期 26-13 L67084 ~ 67085

○安永五年(1776)刊、袋綴、藍鼠色無地原表紙、楮紙、27.7 × 19.5寸、界線なし、乾四五丁・坤四〇丁、一頁一〇〜一行、図あり、漢・片、訓点付刻、書入(朱)、明和六年(1769)自序、安永元年(1772) 藤原直養跋

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・墨) 安永元年 富森一齋述

〈外題〉『國字譯開合法』韻鏡藤氏傳 乾』

〈内題〉・巻首…『韻鏡藤氏傳』

〈刊記〉安永五年〔丙申〕孟春

書林 二条御幸町西入町 山本長兵衛

三条烏丸西入町 八幡屋勘三郎

彫刻

韻鏡名乗集 いんきょうなのりしゅう 華房兵衛

刊一巻一冊 明治 27-342 L63045

○明治一〇年(1877)刊、袋綴、黄檗色出繫(押型)原表

紙、楮紙、二九 × 一六・七寸、墨界、七四丁、一頁二行、漢

・片、図あり、序跋なし、他五冊と合帙

〈印記〉道、帝図、「東大」、国語、「蔵印」(朱方)、「博文

堂」(朱方)

〈外題〉『華房兵衛／華房文直 編輯』韻鏡名乗集 全』

〈内題〉・見返し…『華房兵衛／華房文直 編輯』韻鏡名

乗集』博文堂蔵版(蔵印)

・巻首：『韻鏡名乗集』

〔刊記〕明治十年十月廿二日版權免許

同 十二月廿六日出版

編輯人 東京府平民 華房兵藏

出版人 千葉縣平民 森市三郎(博文堂朱印)

韻鏡發輝 いんきようはつき 大澤賚

刊一卷一冊 江戸後期 27-287 L66952

○天保一三年(1842)刊、袋綴、菜花色無地原表紙、楮紙、25.7×18.2^サ、界線なし、四七丁、漢、全文韻図、序跋なし、他四書と合帙

〔印記〕頼、(頼)、道、帝図、(東大)、国語、「明音齋」(朱

印)、他一種

〔外題〕『韻鏡發輝 全』

〔内題〕扉：座右不可須臾欠之書／『韻鏡發輝』／日本

東都 大澤賚攷定

〔刊記〕天保十三年壬寅春正月

男 大澤述

女 春瘤兒 謹同校

韻鏡發輝易索 いんきようはつきいさく 大澤賚

刊二卷二冊 江戸後期 26-14 L66870～66871

○江戸後期刊、袋綴、秘色色布目地(押型)原表紙、楮紙、25.8

×18.0^サ、界線なし、上三一丁・下三五丁、一頁九行、漢

・片、序なし、天保一五年(1844)小村光忠跋、各冊巻首題の次に「東都 大澤賚 著／男 大澤述 謹／女 春瘤

兒 同／門人 小村光忠 校」、柱に「忠恕塾藏」

〔印記〕頼、道、前、帝図、(東大)、国語

〔表紙〕(右・直・墨)大澤賚著

〔外題〕『韻鏡發輝易索 上』

〔内題〕・見返し：明音齋中秘書／『韻鏡發輝易索』／同門

外不許窺

・巻首：『韻鏡發輝易索』

韻鏡發輝種字 いんきようはつきしめじ

刊三卷三帖 江戸後期 27-345-13-1～3 L67018～67020

○文政一二年(1829)刊、折本、黄檗色無地原表紙、楮紙、17.5×7.1^サ、墨界、各四折、一頁三行、漢・片、序なし、大澤賚跋、各帖後表紙に花押あり、中巻紙背に落書あり、他一四冊と合帙

〔印記〕頼、道、東図、(東大)、国語、「同盟之外禁窺見」

(朱方)、「明音齋」(朱印)

〔外題〕『韻鏡發輝種字 上』

〔内題〕・巻首：『韻鏡發輝種字』

〔刊記〕文政己丑夏五月新刻 東都 忠恕塾藏

〔韻鏡反切〕名乗即鑑 いんきょうはんせつなのりそっかん

刊一巻一冊 江戸後期 27-363 L66637

○天明六年(1786)刊、袋綴、藍鼠色布目地葵唐草紋(押型)原表紙、楮紙、15.1×10.9[㍉]、墨界、五三丁、一頁七行、漢・片、訓点付刻、東海序・天明五年(1785)「東山力之光公暉」序、跋なし、凡例末尾に「廣瀬幽閑末流 加州金澤 多田秀洞識」

〔印記〕頼、道、帝図、「東大」、国語

〔外題〕『〔韻鏡反切〕名乗即鑑 全』

〔内題〕・見返し…世(ヨ)ニ韻鏡(キンキヤウ)ノ書(シ

ヨ)多(オホシ)シトイヘドモ(略)『〔韻鏡反切〕名乗即鑑』／浪華書肆 柳原積玉圃蔵

・序…『名乗即鑑』『名乗即鑑』

・凡例・尾…『韻鏡反切名乗即鑑』

〔刊記〕天明六年丙午三月發行

浪華書肆 心齋橋北久太郎町 河内屋喜兵衛

發行書林 江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛

同 通二丁目 山城屋佐兵衛

同 芝神明前 岡田屋嘉七

同 横山町三丁目 和泉屋金右衛門

尾張名古屋本町七丁目 永樂屋東四郎

伊勢 津 立町 山形屋傳右衛門

京 三條通御幸町 吉野屋仁兵衛

大坂心齋橋通北久太郎町 河内屋喜兵衛

韻鏡秘事抄 いんきょうひじしよ

写一巻一冊 江戸後期 27-288 L67362

○文政七年(1824)写、袋綴、白茶色布目地(押型)原表紙、楮紙、25.1×15.8[㍉]、界線なし、一三丁、漢・片、序跋なし、他八冊と合帙

〔印記〕頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語、「水哉」(朱方)、他二種

〔外題〕『韻鏡秘事抄』

〔内題〕・扉…『韻鏡秘事抄』

〔奥書〕寛文九(己酉)歳

天明六(丙午)年閏十月三日 前橋 米砂写之

(以上本奥書)

文政七(甲申)年七月十五日 上毛桐生 水哉写之

韻鏡翼 いんきょうよく 乗運

刊三巻三冊 江戸中期 26-15 L67110～67112

○寛保元年(1741)刊、袋綴、錆青磁色無地原表紙、楮紙、27.1×17.9[㍉]、界線なし、上三四丁・中一七丁・下四五丁、一頁一〇行、漢・片、訓点付刻、図あり、寛保元年(1741)年南湖掘正修序・同年金剛峰沙門南靈序・同年自序、同年

東都神長済跋

〔印記〕頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕(右・直・墨) 寛保元年／釋乘運著

〔外題〕『韻鏡翼 中』(上下巻題箋一部破損)

〔内題〕・巻首：『韻鏡翼』

〔刊記〕 寛保元年辛酉夏五穀旦

皇都書林

西六條數珠屋町

永田勘兵衛

堀川通錦小路上町

中村次郎兵衛

寺町通錦小路上町

山本平左衛門

錦小路新町西へ入町

永田調兵衛

梓行

韻字 いんじ

写一卷一冊 江戸後期 27-291 L67357

○江戸後期写、袋綴、渋引原表紙、楮紙、277×186^サ、界線なし、六一丁、一頁六行、漢・片、序跋なし、他一〇冊と合帙

〔印記〕道、頼、〔頼〕、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『韻字』

増補印判秘決集 どうほいんぱんひけつしゅう 盛典

刊一卷一冊 江戸中期 27-334 L67461

○寛保三年(1743)刊、袋綴、錆鼠色横刷毛目原表紙、楮紙、257×180^サ、界線なし、四四丁、一頁一二行、漢・

片・梵、訓点付刻、寛保三年(1743)自序、享保一七年(1732)跋、他二冊と合帙

〔印記〕道、前、帝図、〔東大〕、国語、他三種

〔外題〕『増補印判秘決集』全』

〔内題〕・巻首：『増補印判秘決集』

〔刊記〕 寛保三癸亥仲秋吉旦

江府 日本橋南通三丁目 吉文字屋次良兵衛板

運歩色葉集 うんぽいろはしゅう

写三卷三冊 江戸後期 26-16 L62912 ~ 62914

○江戸後期写、袋綴、黄檗色疋繫(押型)原表紙、楮紙、263×191^サ、界線なし、上四六丁・中七六丁・下六〇丁、一頁八行、漢・片、図あり、書入(朱墨)、序跋なし

〔印記〕頼、〔頼〕、道、前、帝図、東図、東図(帙)、〔東大〕、

国語、「黒川書齋」(朱方)

〔外題〕『運歩色葉集 上』

〔内題〕・巻首：『運歩色葉集』

運歩色葉抄 うんぽいろはしゅう

写四卷四冊 江戸後期 26-17 L62958 ~ 62961

○江戸後期写、袋綴、朱色疋繫(押型)原表紙、楮紙、268×185^サ、界線なし、①四五丁②七五丁③六〇丁④六二丁、一頁八行、漢・片、図あり、書入(朱)、序跋なし、第一冊

見返に真道貼紙あり

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、東図（帙）、〔東大〕、国語

〔表紙〕（右・直・墨）①伊至利〔春村本〕②奴至久③屋至

由④免至須〔并魚鳥 獸蟲 花木 草花〕

〔外題〕『運歩色葉抄 一』

〔内題〕・巻首：『運歩色葉集』

〔注〕

1 『黒川文庫目録 索引編』（日本書誌学大系 86 / 2001）五九頁参照。

（ふじもと あかり 大学院人文社会系研究科 博士課程三年）

（ひらい あもん 大学院人文社会系研究科 博士課程二年）

（たけいり ゆう 大学院人文社会系研究科 修士課程一年）